

脈々 高蔵魂^{スピリッツ}

(創立者 市邨芳樹のことば)

「千事万件^{ことごと}悉く皆『いのちがけ』」

見栄を張り、体裁を構う者は、後退りしながら尤^{もつと}もらしい理屈をこねる。身を惜しみ、労を厭う者は、弁解や責任転嫁しながらヒラリヒラリと身をかわず。

頭でっかちの畳上の水練では、何も身につく筈はない。卑怯な振る舞いはするな。身を捨ててこそ、浮かぶと知れ。

従容^{しょうよう}として盡^{つく}すべきことを盡し、優々^{ゆうゆう}として守るべきことを守り、結果を眼前に急がずして功德^{くどく}を将来に帰し、栄達を自己一身に求めずして繁昌を子孫末代に望まんこそ、君子の襟度^{きんど}とは云ふべけれ。 (「藪椿」10-1)